



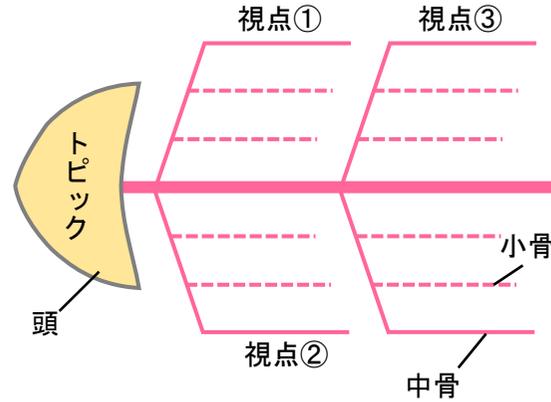
思考の方法

## 多角的に見る

## フィッシュブーン

別の視点から物事を考えてみます。同じ物事についても、どの立場や視点から見ると、別の意味や価値を見いだすことができます。

### フィッシュブーン

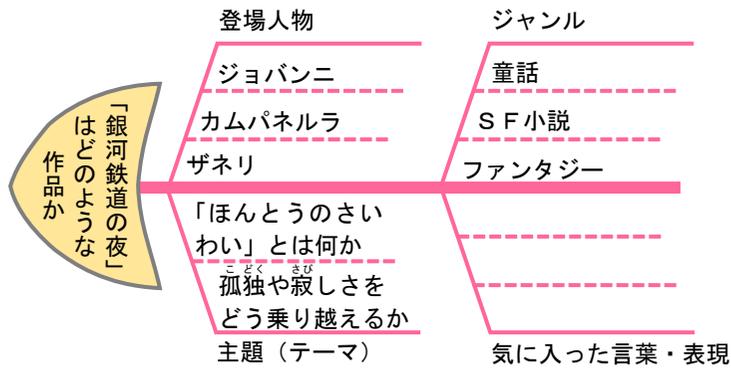


フィッシュブーンは、魚の骨の形をしたチャートです。魚の頭にトピックや課題を、中骨にそのトピックを考える際の視点を、小骨に具体的な事柄ことごとを書くことで、トピックについて多角的に考えることができます。中骨と小骨の数は、視点の数や具体的な事柄の数によって自由に増減させてかまいません。

複数人で取り組めば、自分とは異なる視点からの意見や考えが出てくるね。



### フィッシュブーンの使い方の例



物語や小説を読んだとき、それがどのような作品だったのかを考える視点はいくつもあります。上の図では、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を読んで分析した例を示しています。中骨に「登場人物」「主題 (テーマ)」などの視点を書き、それぞれの視点について、小骨に具体的な事柄を書き込んでいきます。このように、フィッシュブーンを使うことで、物事を多角的に見た結果を可視化できます。また、チャートを他の人と見せ合うと、書き込んだ内容の共通点や相違点がわかりやすくなります。



思考の  
方法

多角的に見る

フィッシュボーン

フィッシュボーン

